

2025年8月26日

各 位

株式会社三井住友銀行

リョービ株式会社への
シンジケーション形式による「グリーンローン」の組成について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕/以下、「三井住友銀行」）は、リョービ株式会社（代表取締役社長：浦上 彰/以下、「リョービ」）に対し、グリーンファイナンス・フレームワーク（以下、「本フレームワーク」）の改定支援を行うとともに、本フレームワークに基づき、本邦初となるギガキャスト設備（型締力 6500 トンの超大型ダイカストマシン等）を資金使途としたグリーンローンを含むシンジケートローン（以下、「本ローン」）を組成いたしました。

グリーンローンは、企業等が環境問題の解決に貢献する事業（以下、「グリーンプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の使途がグリーンプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③それらについて融資後のレポートを通じ透明性が確保されたものを指します。

【本ローンの概要】

契約日	2025年8月27日（予定）
組成金額	95 億円
契約期間	7 年
アレンジャー	株式会社三井住友銀行
貸付人	株式会社三井住友銀行、株式会社中国銀行、日本生命保険相互会社
資金使途	ギガキャスト設備を導入した大型製品試作工場に対する設備資金、他

リョービは、企業理念「技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。」のもとで、企業の持続的な価値創造とより良い社会の実現をめざし、社会的責任を果たすことを経営の基本としています。その一環である環境保全への取組では、事業活動を通じて発生する環境負荷を低減し、環境を保護することを重要な経営課題の一つとして位置づけています。

今般、リョービは静岡県菊川市にて、ダイカスト専門メーカーで国内初となるギガキャスト設備を導入した大型製品試作工場を完成させ、当該設備投資を資金使途としたグリーンローンを含むシンジケートローンの調達を決定いたしました。ギガキャストは、複数の部品を大型一体成型することで製造工程の効率化・コストダウンといった EV 製造ラインの大幅な改革により、自動車業界の電動化と一般社会への EV の普及を後押しする重要な技術と考えており、ICMA（国際資本市場協会／International Capital Market Association）が 2024 年 6 月にガイダンスを公表した

「Green Enabling Project^{*1}」に適合する旨の第三者評価を、株式会社格付投資情報センター（以下、「R&I」）より取得しています。Green Enabling Project としてのギガキャストを資金使途としたグリーンローンは、本邦初の試みとなります。

加えて、本フレームワークについては R&I より、国際金融業界団体の LMA (Loan Market Association)、LSTA (Loan Syndications and Trading Association) 及び APLMA (Asia Pacific Loan Market Association) にて策定された「グリーンローン原則 (2025 年版)」、並びに、環境省にて策定された「グリーンローンガイドライン (2024 年版)」において求められる項目について基準を満たしているとの評価を得ています。

三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

(参考)

リョービ株式会社 ホームページ：

<https://www.ryobi-group.co.jp/>

をご参照ください。

株式会社格付投資情報センター (R&I) による評価結果の詳細：

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

をご参照ください。

※1 Green Enabling Project とは

それ自体では明確にグリーンとは位置付けられないものの、グリーンプロジェクトのバリューチェーンで重要な役割を果たすプロジェクトを指し、国内では、2025 年 4 月に環境省が「グリーンプロジェクトに寄与する事業の考え方」を公表しています。

＜本ローン資金使途＞

型締力 6500 トンの等大型ダイカストマシン及び当該設備を導入した
菊川工場敷地内の大型試作品工場



以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
法人戦略部サステナブルソリューション室
TEL：03-4333-8260

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。